

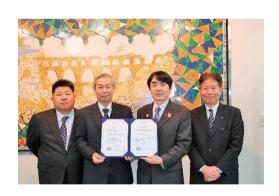
平成28年熊本地震の支援活動に対する感謝状授与式に参加(1月19日 於:厚生労働省)

平成28年熊本地震における本協会会員による被災地への支援活動に対し、塩崎恭久厚生労働大臣からの感謝状を同省医薬・生活衛生局の北島智子生活衛生・食品安全部長より本協会吉田理事長に授与された。



水道 GLP 認定証授与式(1月17日)

水道 GLP 認定委員会で認定の更新が決定した宇都宮市上下水道局(認定番号:JWWA-GLP041)の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



配管設計講習会(北海道会場:1月11日~13日、関東会場第2回:1月17日~19日)

水道事業体及び設計業者の方々89名(北海道会場40名、関東会場第2回49名)の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路 (GX 形)の製図演習」、「積算の基本」、「管路 (GX 形)の積算演習」について、研修を実施した。

第710回抄録委員会(1月13日)

本誌4月号及び5月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

水道施設管理技士1・2級資格試験(1月15日)

平成28年度水道施設管理技士1級及び2級の資格試験を全国7会場(札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市)で実施し、計946名が受験した。

净水場等設備技術実務研修会(東京会場第8回:1月17日~20日)

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第77回中小規模水道問題協議会(1月20日)

はじめに、メンバー都市から提案された情報交換事項①経営責任について、②過疎地域における「水道」の在り方事例の紹介について、③既存配水池のメンテナンス、緊急遮断弁の動作設定について、④再任用職員の給料等について、それぞれ情報交換を行った。

次に、メンバー都市の小発表(取組事例) として、登米市水道事業所より「経営戦略と 施設更新計画」、見附市ガス上下水道局より



「DBO 方式による青木浄水場更新事業」、戸田市上下水道部より「戸田市上下水道事業包括委託」について発表があった。

水道技術者専門別研修会(水質管理部門)(1月23日~27日)

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々86名の参加を得て、「水質概論(衛生管理含む)」、「水質管理(原水・浄水)」、「水質管理(送配水)」、「精度管理と成績表示」、「機器分析(IC、原子吸光、ICP、ICP/MS)」、「機器分析(GC、GC/MS、HPLC、LC/MS)」、「理化学試験(一般性状・非金属・金属)」、「理化学試験(無機物・有機物)」及び「理化学試験(生物試験・微生物試験)」について、研修を実施した。

第151回水道事業管理者協議会(1月24日)

はじめに、メンバー都市及び事務局から提案された情報交換事項「①今後、更新需要の増加に対する財源の確保について」、「②老朽管更新需要における目標値(更新率)の設定状況について」、「③外部委託とコア業務の考え方について」の3題について情報交換を行った。

次に、取組事例(小発表)として、神奈川 県内広域水道企業団より「水源地域における



関係機関の連携と財源措置について」、宮崎市上下水道局より「宮崎市の水道料金改定」の 発表があった。

続いて、報告事項として、事務局より「水道事業の維持・向上に関する専門委員会」報告 書の概要について報告を行った後、近畿大学経営学部の浦上拓也教授より「水道事業の経営 基盤強化について」の講演があった。

第1回水道施設地震リスク管理検討委員会(1月24日)

はじめに、委員長の互選を行い、東京都市 大学の長岡裕教授が選任された。

また、審議事項では、次回台湾で開催予定の第10回日米台水道地震対策ワークショップのテーマ、論文募集方法等について事務局より説明を行い、それぞれ審議・意見交換を行った。



第952回会誌編集委員会(1月27日)

本誌2月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取り扱いについて審議した。

水道技術者専門別研修会(導送配水施設の設計施工と維持管理部門)(1月30日~2月3日)

当該部門の水道業務に従事する実務経験概ね3年以上の技術系職員の方々85名の参加を得て、「水運用計画」、「導・送・配水施設の整備」、「送・配水施設の維持管理」、「配管設計・施工の基礎」、「配管設計・施工の実務」、「水道施設の耐震化」、「施設(構造物)の設計」及び「漏水防止」について、研修を実施した。

第117回水道 GLP 認定委員会(1月30日)

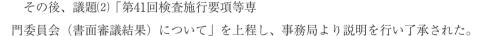
水道 GLP 認定について、株式会社静環検査センター(JWWA-GLP131)が新規認定検査機関として審議され決定された。

また、旭川市水道局(JWWA-GLP042)が認定更新検査機関として審議され決定された。 また、一般社団法人群馬県薬剤師会(JWWA-GLP116)、高槻市水道部(JWWA-GLP117)、 福岡地区水道企業団(JWWA-GLP020)、久留米市企業局(JWWA-GLP021)、が認定維持検 査機関として、それぞれ審議され決定された。

第42回検査施行要項等専門委員会(2月2日・3日)

初日に、株式会社クボタ京葉工場にて、ダ クタイル鋳鉄管の製造工程及び検査工程の視 察を実施した。

翌日の審議では、はじめに議題(1)「委員長の互選について」を事務局より上程し、委員 長には大澤大阪市水道局工務部技術監理担当 課長が選出された。



続いて議題(3)「検査施行要項等の改正について」を上程し、水道用ダクタイル鋳鉄管検査施行要項、水道用ダクタイル鋳鉄異形管検査施行要項、水道用ソフトシール仕切弁検査施行要項等、計11の検査施行要項についてそれぞれ事務局より説明し、慎重審議の結果、一部修正の上で了承され、次回検査事業委員会に上程することとなった。

第17回 ISO/TC224上水道国内対策委員会(2月7日)

専門委員会 TC224の活動状況について、傘下の各ワーキンググループの活動のほか業務範囲の見直しに関するグループの検討報告、他の専門委員会の動向として再生水利用に関する専門委員会 TC282、上下水のスラッジの回収、再生利用、処理、処分に関する委員会 TC275の報告がなされた。

水道施設耐震技術研修会(大阪会場:2月7日~9日)

水道施設の耐震設計業務等に携わる方々81名の参加を得て「水道施設の耐震化の概要」「水 道施設の耐震設計の基本事項」「水道施設の耐震設計方法」「施設別の耐震設計」「水道施設 の耐震設計実務」「施設(構造物)の設計事例と解説」について研修を実施した。